



ロータリー：
変化をもたらす

ARIDA 2000

No. 824

Club Bulletin

17-18年度 RIテーマ
「ロータリー：変化をもたらす」

会長 大浦輝彦
幹事 辻本正成
クラブ会報委員長 南 良暢

会員増強・拡大月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00

事務局・例会場/〒643-0025 有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター

TEL (0737) 52-8960 / FAX (0737) 22-6800

E-mail/arida2kr@star.ocn.ne.jp

URL/http://arida2000rotary.club/

創立年月日/2000年 4月12日

本日のプログラム

平成29年9月6日第825回

ソング「君が代」「奉仕の理想」

会長の時間 幹事報告 委員会報告

ニコニコ箱報告 出席報告

卓話：地区増強副委員長

小池佳史様（御坊東RC）

次回のプログラム

9月13日 地区クラブ奉仕委員長

矢倉 甚兵衛様

20日 地区情報規定委員長

北岡 満様

27日 広川町教育委員会

前回の報告（第824例会）

開催日 平成29年8月30日（水）

点鐘 大浦会長

ソング「それでこそロータリー」

ゲスト 糸我小学校 校長 和田啓次郎先生

●会長の時間●大浦 輝彦会長

皆さんこんばんは、本日もご出席ありがとうございます。先週はガバナー公式訪問を無事終えられました。皆様ご協力ありがとうございました。

先日、テレビをみますとアメリカで最高額の宝くじ当選ニュースを放送していました。金額は1人が手にする金額としては史上最高となるおよそ830億円の当選券が出たと発表されていました。「パワーボール」と呼ばれるアメリカの宝くじで、1枚2ドルで6つの数字を選び、当選者が出なければ賞金は繰り越されるそうで、この2か月余り大当たりがなく、史上2番目に高額となる7億5870万ドル（日本円にしておよそ830億円）にまで膨れあがっていたよ



うです。これまでの最高額の賞金は、去年1月に同じ「パワーボール」で出た15億8600万ドル余りでしたが、3枚の当選券が出たため、金額は分割されていたため、1人が手にする金額としては今回が史上最高と成ったようです。当選券は、アメリカ東部、マサチューセッツ州の女性で「まさに夢物語です。昨夜は何も手につきませんでした。今日になり、『これは現実だ。私が当せん者だ』と、ようやく実感しています」と、コメントし、勤務している病院を早期に退職したいと話してしていました。本当に羨ましい限りです。

9月2日は「宝くじの日」です。日本での宝くじは昭和20年7月に戦争中であったため、勝利の祈りを込めて「勝札」として発売されましたが、8月の抽選を待たずに終戦となったため「負札」と皮肉られたそうであります。

その年の10月、装いも新たに「宝籤」として登場!! 偽物が出るほどの人気であったようです。1枚10円で発売されて、1等賞金が10万円で、当時は食料欠乏が著しくお金より物といった世相を反映して、賞品に純綿カナキンやタバコが付いたみたいです。当時の物価は厚生省指導による6坪の組立住宅が1500円、白米1升(ヤミ値)70円、大根1貫目8円、東北本線沿いの耕地1坪3円50銭と書かれていました。

その後、昭和22年に1枚50円で発売され特等賞金が100万円に、昭和29年には1枚100円で発売され1等賞金が400万円と上昇を続けて、平成25年、数字

選択式宝くじ「ロト7」では8億円、平成27年、年末ジャンボ宝くじで1等賞金7億円(前後賞合わせて10億円)と進化を続けています。

宝くじ公式サイトに、「宝くじ長者白書」なるものが掲載されています。内容を読ませて頂きますと、高額当選は性別で見ると男性(63%)女性37%で血液型はA型→O型→B型と続いて年齢は60歳以上が男女ともにトップのようであります。

職業別では会社員がトップで、イニシャルでは男性がK。Kさん、女性がM。Kさんとなっていて、最後に星座が水瓶座の方が最も多かったようです。

皆さん一度御覧頂きまして高額当選者を目指して購入されるのも楽しいかもしれません。

ロータリーの話に戻りまして、明日で8月も終わります。8月は会員増強月間でありました。残念ながら今のところ会員増強には至っていません。名前が上がりました方への入会のすすめをしっかりと継続して行って頂きたいと思えます。先週のガバナー公式訪問で岡本ガバナーからも話が有ったように、今年度有田2000ロータリークラブ重点取り組み項目である20周年20人を確実に達成するため、川島委員長を中心にしっかりプランを立て全員参加でよろしくお願ひいたします。以上で会長の時を終ります。ありがとうございました。

●幹事報告● 辻本正成君

- ◆例会変更(掲示)
- ◆和歌山県より麻薬・覚せい剤乱用防止運動の実施について
- ◆ガバナー公式訪問お礼(回覧)
- ◆インターアクト国際交流親睦会のご案内
- ◆地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内(回覧)



●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	17名	11名	64.74%
8/9	17名	16名	94.12%

●ニコニコ箱報告●

大浦輝彦君：みなさんこんばんは！和田先生、本日はようこそおいでくださいました。卓話よろしくお願ひ致します。

辻本正成君：和田先生、本日卓話よろしくお願ひ致します。

寺村公博君：和田校長先生、ようこそおいでくださいました。宜しくお願ひ致します。

樋口 明君：糸我小学校 校長 和田先生、本日はお忙しい中お越しくださり有難うございます。仕事の都合で出席できませんが、宜しくお願ひ致します。

前 任君：糸我小学校 校長 和田先生、お忙しいところ有難うございます。

上田益稔君：和田先生、本日はお越し頂きありがとうございます。とうございます。

●卓話●

「糸我小学校の特色ある取り組み」

有田市立糸我小学校
校長 和田 啓次郎 先生

糸我小学校は今年で創立141年目を迎える児童数80名、職員数16名(非常勤職員を含む)の小規模校です。学校規模では有田市内7小学校中最も小さく、有田地方24小学校中14番目の規模となっています。



小規模校である本校は、そのメリットを最大限に生かし、活力ある学校を作り、児童達の知・徳・体のバランスのとれた成長を実現するため様々な実践を行っていますが、その柱となっている特色ある取り組み3点をご紹介します。

特色①図書館教育の充実・活性化

本校では学校図書館がもつ読書センター、学習センターとしての役割を充実・発展させ児童達の学力向上と豊かな心の育成に取り組んでいます。一例を挙げると各教員が授業の中で子供たちを学校図書館に連れて行き、蔵書を活用し教室での学習内容をさらに掘り下げて調べたり、学習内容に関連する本を読ませたりという発展的な学習に特に力を入れています。また、各教科の学習に関係する本を、常に各教室にも陳列し、常時子供たちが自由に手に取って見られるようにしています。本の読み聞かせや貸し出しも大変盛んで、昼休みだけでなく放課後も図書室を開放しています。これらの活動には本校学校司書や教員だけでなく、図書ボランティアとして参加していただいている地域住民有志の方々にも大変協力いただいています。その結果、本校児童は全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査(生活アンケート)では、「1日平均読書時間」「図書館利用回数」「読書は好きか」等の質問項目では全国平均、本県平均を大きく上回る好ましい数値が出ています。

また、少し前になりますが平成24年度には図書館教育で文部科学大臣表彰も受賞することができました。学校図書館の蔵書の数も、約6500冊と児童数80名のわりに大変多いですが、中には古い本も多く、蔵書の計画的な刷新が喫緊の課題と考えています。

特色②地域に開かれた学校作り、地域連携の積極的推進

人は人との関わり、交わりの中で育つという観

点からすると、教職員数の少ない本校のような小規模校では、学校だけの取り組みでは児童の知・徳・体のバランスのとれた健全な育成には自ずと限界があると考え、開かれた学校作り（学校を外部に開き、地域の方々や外部関係機関と連携した取り組みをできるだけ多く行うこと）に意識的に努めています。学校だけでがんばるより、地域社会と協力して子供を育てる方がずっと効果的でメリットは大きいと考え、各種出前講座・出前授業も活用し、地域住民、各種関係機関を始め外部の人々をどんどん呼び込むことや、子供と教員がどんどん地域に出て行って、地域の行事、活動に積極的に参加することに意識して取り組んでいます。

その点で、本校の取り組みで最も知られているのは糸我地区青少年育成会をはじめ市や県の関係部局のサポートを受けながら17年間続いている「田んぼの学校」の取り組みですが、他にも「自然探検隊」「芋茶粥の集い」「伝統芸能保存活動」「水生生物観察会」「おもしろサイエンス教室」「地域の夏祭り」等々への児童、教職員の積極的な参加にも取り組んでいます。

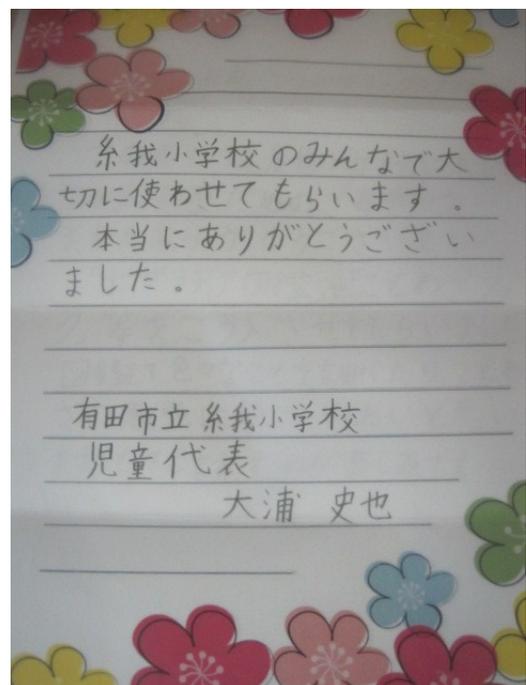
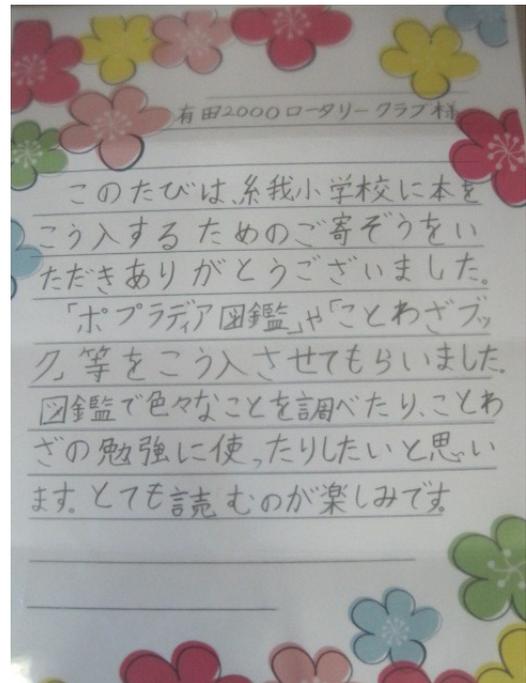
特色③縦割り児童集団（異年齢児童集団）活動の積極的な推進

本校では、日々の当番活動、児童会活動や運動会等の行事において縦割り児童集団（異年齢児童集団）が大変盛んですが、その中で最も有名な取り組みは今年で33年目を迎えた縦割り児童集団（異年齢児童集団）で実施する春の遠足（糸我峠越えて栖原海岸まで往復10Kmを歩く遠足）です。確かに、低学年の児童達にとって糸我峠越えの10Kmの遠足は大変ハードですが、高学年の児童や教職員らに励まされ、助けられながら全行程を歩ききることは低学年の児童達にとっては大きな自信と成長につながります。また高学年の児童達にとっても、ただ歩くだけではなく低学年の児童達を思いやり、サポートしながら歩ききること、高学年としてまた学校のリーダーとしての大きな自信と自覚につながります。毎年、遠足の後で学校に戻ってきた児童達は、どの子も達成感と自信に満ちあふれた顔であることが大変印象的です。

今後とも、本校では児童達の成長に有益と考えられる取り組みを学校教育活動の中にどんどん取り入れ、児童達の知・徳・体バランスのとれた健全な成長を目指していきたいと考えています。

有田2000ロータリークラブさんで今後何か催し物等を計画し、児童達の参加が必要で、それが児童達の成長にとって有益だと思われる時、児童達に活動のチャンスがある時は是非本校にお声がけください。よろしく願いいたします。

今回は、高額な図書費の寄贈をいただき、本当にありがとうございました。有効に活用させていただきます。ご清聴ありがとうございました。



●閉会点鐘●